

題字
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所
仙台市上杉1丁目2番16号
社団法人 宮城県畜産会
電話 (61-2111)
編集発行人 大石 武一
定価 1部20円
印刷所 KK東北プリント



酪農家からの預託乳用育成牛順調に発育中 (県営岩出山牧場)

もくじ

- 年頭にあたって……………(2)
- 本県畜産の動向……………(3)
- 農畜産物の「生産目標の試案」公表される……………(4)
- 山本知事を招き、なごやかなムードの内に総会開催される……………(7)
- 「うし年の73年宮城県酪農乳業のつどい」開催案内……………(7)

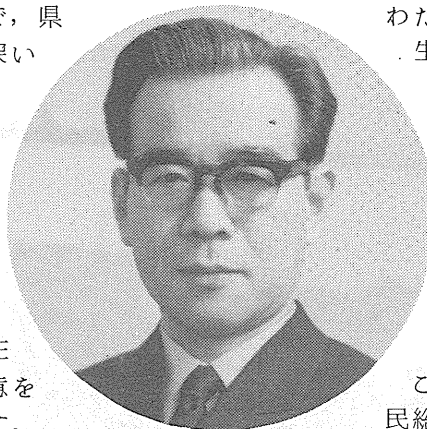
年頭にあたって

宮城県知事 山本 壮一郎

みなさま、新年おめでとうございます。

平和と繁栄のうちに、みなさまとともに希望にみちた新年を迎えることができましたことを何よりもうれしく存じます。

昨年は、陸・海・空にわたる近代的な交通ネットワークの整備の進展を軸とする飛躍的な県勢発展への動きのなかで、県制百年というたいへん意義深い年を迎えたのであります。皇太子、同妃両殿下のご臨席をえて、これを記念する式典を挙行しみなさまとともに過去百年にわたる先輩各位の苦難と努力に感謝をささげるとともに、新たな世紀へ向けてのより住みよい地域社会づくりへ決意を新たにしたところであります。



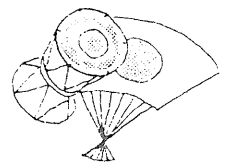
そして、ことしは、そのスタートの年となるわけですが、内外にわたる激しい変動と、これに伴う「困難な転換期」に対応して、われわれはこれまでの成果の上に、こんごどういう地域社会を造りあげてゆくべきか。みんなが知恵を出し合い、努力し合って、力強く新しい世紀へのスタートを切ることが、われわれに課せられた使命であるといえましょう。

そこに生まれ、育ち、やすらかな老後を託す——生涯を通じてしあわせな生活を送ることのできる場。人と人の暖かい心のふれ合いがあり、われわれの地域にだけある古い価値ある伝統芸能や文化財などが保存され、よい環境が保たれる地域社会の建設——。そういう念願をこめ、県民各層のご意見も頂き、昨年5月、新しい長期総合計画をつくりました。この計画に「新しいふるさとづくり」という副題を冠したのもこのためであります。この計画にもとづき、「人間優先」の新しいパターンによる誤りのない地域開発を進めるとともに、新しい時代に対応する総合農政の確立、

中小企業対策や社会福祉対策の充実強化など、高福祉社会をめざして各般の施策を強く押し進めてまいりたいと存じます。

いずれにいたしましても、県政のめざすところは唯ひとつ、あくまでも住みよい環境のなかで、大勢の県民のみなさまの物心両面にわたるしあわせな生きがいのある生活をねがう、ということにつきます。そして自治の基本の精神は、1人々々の力では解決できないことを、向こう三軒両隣り、お互い力を合わせて、より住みよい地域社会のための地道な努力をつづけることにあります。

このため私は、こんごとも「県民総参加」の県政を基本姿勢として、県勢の発展と県民福祉の向上をめざす「新しいふるさとづくり」に最善の努力を傾けてまいり所存であります。なにとぞ、みなさまのいっそうのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。



本県畜産の動向

＝うし年73年こそ畜産の飛躍＝

佐々間健一郎

内外の流動する社会経済情勢のなかにあつて、農業わけても畜産にとっては増大する畜産物の需要を背景に経営規模の拡大、流通の近代化が進むなかで飼養戸数の減少、畜産経営に起因する環境汚染いわゆる「畜産公害」問題等が大きく台数するなど従来にならぬ厳しい年を送りここに新しい年を迎えることになりました。

謹んで新春のお目出度を申し上げます。

本年は昭和60年度を目標年次とする県長期総合計画を指標として酪農、肉用牛及び中小家畜、飼料基盤を中心とした一連の畜産振興対策と取り組み自立畜産経営の育成をはかりながら、広域畜産生産団地づくりを意欲的に進めて参りたいと存じますが、年頭にあたり特に当面する課題について申し述べ畜産農家をはじめ、関係機関団体の皆様と一体となつてご協力を得ながら畜産振興に努めたいと存じます。

第1は、急速な都市化、市街化の外延の拡大あるいは水質汚濁、悪臭防止法等による規制強化に対応するため従来の畜産移転、家畜ふん尿の農地還元促進等の対策のほか、現在居住のまゝの畜産農家をも含めた町ぐるみの総合的な畜産経営環境整備を進め、農村地域に於ける生活環境との調和をはかりながら、健全な畜産農家の育成、畜産生産地の形成を旨とする施策を大きく推進して参りたいと存じます。

第2は、堅調な食肉需要に対応するための食肉生産対策ですが、これは特に低収益性の肉用牛繁殖部門を補完するため肥育部門とも有機的組合せを持って肉用牛生産団地づくりを積極的に推進すると共に、これら肥育素牛の確保が緊急な課題となっておりますので、潜存資源である乳用雄子牛の農協等による共同哺育、集

団肥育事業を進め、更に家畜の近代的な取引を助長するため家畜市場の総合整備を促進し、併せて豚肉およびブロイラー等の食肉流通施設の近代化を図りたいと存じます。

第3は、酪農近代化のための未利用地の草地開発、水稻の飼料作物転換による飼料基盤整備を継続して推進すると共に既設公共草地の運営合理化対策が緊要でありますので、牧場管理者の方々のご理解とご協力を得ながら多方面の利用用途を早急に策定して地域畜産の振興を図りたいと存じます。

更に、生乳流通面につきましては酪農団体、乳業メーカーのご協力を得て、全国的な交通ネットワークの整備に対応した集送乳の近代化ならびに生乳品質改善対策を進め、関東市乳圏への「宮城のフレッシュ牛乳」の大巾送乳によって飲用化率の向上をはかり、酪農経営の安定に努めて参ります。

第4は、試験研究機関の整備であります。現在本県に於ける畜産関係の試験研究体制は、県種畜場ならびに県立農業試験場畜産部においてそれぞれ行なわれておりますが、最近の畜産経営における技術革新、大型草地農業の管理運営あるいは、家畜ふん尿の効率的な処理技術の開発要請など試験研究機関に期待される分野は極めて大きく、その重要性が益々増大している現情にありますので、一元的な試験研究体制の整備によってこの需要に応えねばなりません。

最後に昭和46年に関係者の皆様のご協力によって、広域化された家畜保健衛生所の整備強化によって家畜疾病の早期防あつに実効をあげつつありますが、畜産の伸長に伴って多様化しつつある各種疾病に対処するためには、



純生卵

「生産から販売まで」

(株)フラワー食品仙台営業所

TEL(0222)(21)7694

中新田GPセンター

TEL(022296)(3)3714

こくて おいしく
ビタミン
たっぷり!!



明治ビタ牛乳

市町村、農業団体の畜産技術者及び民間獣医師各位の幅広い協力体制をとることが必要であり、この方々のため畜産衛生技能研修施設の設置についても検討しております。

今年も亦きびしい畜産情勢が続くものと思料されますので、今こそ新しい発想のもとに生活環境との調和をはかりながら、新しい畜産振興を組立て山本知事の提唱さ

れる人間優先の住みよい地域社会―「あたらしいふるさとづくり」―の具現のため、うし年にふさわしく力強く今年も邁進したいと念願しておりますので、畜産関係のみなさまの一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

(宮城県畜産課長)

農畜産物の「生産目標の試案」公表される

昭和57年目標、牛乳1.7倍、肉用牛1.9倍、豚2.6倍、卵用鶏1.1倍、ブロイラー2.5倍

昨年10月11日「農産物需給の展望と生産目標の試案」が農林省から公表された。

今後10年間に於ける我が国の農産物の需要見通しに立脚した各作目ごとの生産指標ならびに生産目標が示されるとともに主要農産物の国内自給率の目標も具体的に明確化された。

激動する我が国経済社会、農産物の輸入自由化等の経済の国際化が進展するなかで、農業の生産性を高めつつ、国民の必要とする食糧を安定的に供給するという農業本来の姿が前面に押し出されており、今後の農業政策にとって非常に重要な指針であると考えられる。

その概要は次のとおりである。

1 農産物需要の見通し

- (1) 今後我が国の経済は引続き相当の成長率で推移し、これに伴う個人消費支出の伸長率を年8%程度とすれば、飲食費支出(実質)は5.3%程度の伸びとなり、食糧需要の高度化、多様化は一層進むとし、品目別には牛乳、乳製品、肉類、果実等は1.5~2.0増で増加し、野菜は2割増、米は2割減、小麦は微減という動きを示すものとされている。
- (2) 国民の栄養水準は引続き上昇し、国民1人当りの熱量は10年後には2,640カロリー(S45年2,475カロリー)程度で、澱粉質食品の割合は引続き低下するのに対し、動物性蛋白質、脂肪の割合は高くなるが我が国の食生活の伝統などから欧

米諸国に比べ、やはり澱粉質のウェートの高い日本型食生活パターンの形成が続くものとされている。

2 農産物生産構造の展望

(1) 農業労働と耕地面積

①農業労働力は工場の地方分散、離農の増加等もあり、従来より減少テンポを早め年率5%程度で減少し、10年後には45年度811万人の約半数の430万人程度と見込まれるが、農家戸数については、減少率は緩慢で45年の約8割にあたる433万戸程度としている。

②耕地面積は、今後10年間の宅地、道路、工場用地等による廃廃および畜産、園芸を中心とした畑の造成を考慮した場合、520万ヘクタール程度(S45年、579万ヘクタール)に減少するが、増大する大家畜の飼料需要に対応して、草地面積は、64万ヘクタール程度(S45年、24万ヘクター)が必要とされている。

(2) 生産構造

農業生産の担い手として自立経営の育成はもとより、兼業農家のもつ資源についても積極的に活用し、自立経営農家群を中核とした集団の生産組織による実質的な規模拡大を図る必要があるとし、10年後における稲作、酪農、果樹について次のように展望している。

① 稲作については、専業農家による作業受託、

飼い上手 育て上手は……

みのたに……で



動物薬品・獣医器具総代理店

K. K 美濃谷



本店 山形市蔵王成沢
TEL 山形 (0236) (88) 3121

仙台営業所 仙台市山田字羽黒堂5~216
TEL 仙台 (0222) (45) 4306

鶴岡店 鶴岡市本町一丁目8-3
TEL 鶴岡 (0235) (22) 1428

こくておいしい大型びん……

森永 ハイクラウン牛乳

宮酪乳業株式会社

仙台市一番町4番31号 TEL(代) 23-9101

専業農家を中核とする集団の生産組織による兼業農家の作業委託等が進展し、これらの組織による生産は全体の6~7割に達する。

㊤ 酪農は40~50頭程度の専業農家が増加し、これらの農家が乳牛頭数の5割程度占め、生産の主要な担い手となる。

㊦ 果樹についても、防除施設を中核とした、集団の生産組織の形成が進展し、これらの組織が生産量のおおむね半ばを占める。

その他の作目も同様に生産の組織化等による規模拡大が進展する。

3 生産性向上の指標

第1表 需要の見通し

米	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	45年度	57年度
		11,948 95.1	11,090~10,830~10,560 77.3~75.3~73.3
小麦	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	5,207 30.8	5,760 29.4
トウモロコシ	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	1,685 1.5	2,310~2,340~2,360 0.9
カンショ	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	2,564 4.1	1,473 4.5
パレイシ	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	3,611 12.1	3,607 11.9
大豆	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	3,281 5.6	4,427 5.8
雑豆	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	393 3.3	381 2.9
落花生	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	115 1.0	188 1.5
茶	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	100 0.5	127~130~132 1.06~1.08~1.10
野菜	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	15,210 115.5	20,840~21,170~21,474 138.6~140.7~142.6
果実	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	6,636 38.2	10,273~10,736~11,195 51.9~54.3~56.7
牛乳・乳製品	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	5,355 50.1	8,751~9,230~9,705 72.2~76.2~80.2
肉類(豚肉を除く)	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	1,678 11.6	3,555~3,878~4,220 21.4~23.3~25.5
鶏卵	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	1,817 14.8	2,271 16.3
生糸	総需要量(千トン)	408	611~648~686
砂糖	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	2,829 26.8	3,829~3,974~4,117 31.8~33.1~34.3
油脂	総需要量(千トン) 1人1年当たり(噸)	1,361 9.5	2,030~2,088~2,141 13.0~13.4~13.9

㊦ 個人消費支出(実質)の年平均増加率が7.8%または9.5%の場合である。

技術的、経済的側面から検討された各作物ごとの可能な生産性向上の指標は第1表のとおりであるが総体としての農業就業者1人当り実質の生産性を昭和57年には2.5倍(S45年対比)程度に増加するとしている。

4 生産の目標

以上の様な生産構造、生産性のもとで実現される10年後の主要農産物の国内生産による自給率の目標は第2表のとおりであるが、米、野菜、果樹、牛乳乳製品、肉類、鶏卵、生糸等については、完全自給ないし8割以上の自給率を確保し、総合的な農産物自給率も73~77%程度とする。

第2表 需要と生産の対比(57年)

	需要量(A)	生産量(B)		(B) / (A)
		(B) (A)	(B) / (A)	
米	千トン 0,830 (11,090~10,560)	千トン 10,830	0	100
小麦	5,760	480	△5,280	8
トウモロコシ	2,310~2,340~2,360	578	△1,732~△1,762~△1,782	25~25~25
カンショ	1,473	1,473	0	100
パレイシ	3,607	3,607	0	100
大豆	4,427	586	△3,841	12
雑豆	381	222	△159	58
落花生	188	94	△94	50
茶	127~130~132	130	3~0~△2	102~100~99
野菜	20,840~21,170~21,474	21,170	330~0~△304	102~100~99
果実	10,273~10,736~11,195	8,827	△1,446~△1,909~△2,368	86~82~79
牛乳・乳製品	8,751~9,230~9,705	8,482	△269~△748~△1,223	97~92~87
肉類(豚肉を除く)	3,555~3,878~4,220	3,455	△100~△423~△765	97~89~82
鶏卵	2,271	2,271	0	100
生糸	千俵 611~648~686	千俵 529	千俵 △82~△119~△157	87~82~77

㊦ 米は中央値による。

第3表 家畜飼養頭羽数

	45年	57年	57/45
	千頭	千頭	%
乳用牛	1,804	3,080	170.7
肉用牛	1,789	3,346	187.0
豚	6,335	16,662	263.0
鶏卵	千羽 169,277	千羽 194,018	114.6
ブロイラー	53,742	135,635	252.4

(注) 1.飼養頭羽数は2月1日現在である。
2.肉用牛には乳用雄牛等の肥育を含む。

牧場用柵には
強くて美しくスマートな
東芝製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼(株)仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL0277053
販売元 塚本商事機械東北出張所
仙台市大町三丁目165 TEL0214581
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL046221

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事

さく井工事

設計・施工

ポンプ工事

水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話(0222)(93)2461

第1表 作目別生産性指標

	単位当たり生産性		労働時間当たり		生産性向上の手段等
	労働時間	生産量	生産量	57/45	
稲作	時/10a 65~75	kg/10a 490	kg/時 6.5~7.5	1.8~2.0	高効率機械を効率的に利用する集団的生産組織の育成
小麦	25~35	318	9.1~12.7	2.5~3.5	主として水田作伴の不耕作地を集団的に確保しての生産の組織化
小ビール	20~30	356	11.9~17.7	2.2~3.3	
ミカン	140	8,640	2.60	2.2	防除作業を中心とした生産の組織化
リンゴ	153	3,540	2.31	2.5	稚蚕飼育、養蠶管理作業等を中心とした生産の組織化
養蚕	154	87	0.57	2.7	
大豆	27.4	223	8.14	2.3	畑においては輪作体系の確立と生産の組織化
酪農	時/頭	kg/頭	kg/時		飼料生産基盤整備と飼養規模の拡大
肉用牛(肥育)	20.1	5,476	2.73	2.2	
肉用牛(繁殖)	113	310	2.7	3.4	(頭)(100時間当たり頭)
肉用牛(繁殖)	161	1.0	0.7	2.3	
肥育豚	時/頭	kg/頭	kg/時		飼養規模の拡大
肥育豚	6.8	65	9.6	2.3	
鶏卵	時/100羽	kg/100羽	kg/時		
鶏卵	51	1,584	30.1	3.7	

第2表 作目別生産目標(国内自給率)

品目区分	自給率		考 え 方
	45年度	57年度	
① 完全自給 米	106%	100%	わが国の基本食料であり、将来ともわが国農業の基幹的作物であるので、生産性を高めつつ全量自給する。
② 大部分を自給 野菜	99	約100	生鮮さを必要とし、海外からの長距離輸送は困難である。一部保存性ある品目の輸入はあり得るが、継続性はないので原則として自給する。
鶏卵	97	約100	現状でも生産性は高いが、今後さらに規模拡大による生産性向上の可能性が高いので、原則として自給する。
肉類	88	82~97	豚肉、鶏肉は鶏卵と同様、生産性向上の可能性が高く、大部分国内で自給可能である。牛肉は肉質的にみても不足傾向にあり、国内資源(乳用雄牛、草食豚)の有効利用により生産性を高めつつ極力国内生産の増大を図る。
果実	84	81~88	国内産果実は種類の違い、植物防疫等の問題から海外に依存しがたく、選択別拡大部門としても重要なので、生産性の向上を図りつつ現状程度の自給率を確保する。
牛乳・乳製品	89	87~97	飲用乳は鮮度が要求され、また重要な国民栄養品であるので完全自給する。加工原料乳は北海道等で多頭飼養が進展しているため、さらに生産性を高めつつ現状程度の自給率を維持する。
生糸	87	80~90	生糸の国内需要は原則であり、また養蚕は地域農業にとって重要な作物でもあるので、生産性を高めつつ現状程度の自給率を確保する。
③ 5割程度自給豆類(大豆を除く)	63	約55	国内産に対しては菓子加工用等独自の需要があり、また、畑作地域における重要な輪作作物であるところから、5割程度の自給率を確保する。
④ 主として輸入に依存するが、一定量は自給 麦類	15	約15	ビール麦は現状の5割程度の自給率を維持し、大・はだか麦は精麦需要を充足することとし、小麦は国内産に対する嗜好度の強い需要(めん用等)の6割程度の自給を目標とする。
大豆	4	約10	国内産に対しては食品用に独自の需要があり、また稲作転換上重要な作物なので、豆腐等食品用需要の8割程度の自給を目標とする。
砂糖	23	26~28	テンサイ、サトウキビは北海道、沖縄等地域農業の重要な作物であるので、現状よりやや高い8割程度の自給率を目標とする。

畜産施設設計コンサルタント

(KK) 山本設計事務所

仙台市柏木3丁目2の28
TEL (0222) 33-6028

今日の活力! 明日の健康!

全酪牛乳



全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

山本知事を招き、 なごやかなムードの内に 総会開催される

宮城県畜産技術職員協議会

県畜産課技術職員が関係職場を通じ新陸と技術の向上を計り、明朗な職場社会として県民のよりよい奉仕者となるよう昭和39年協議会を結成して以来9ケ年が経過しました。



山本知事をかこんで

「うし年」畜産の新年を迎え、今回の総会には、お忙しい中にもかかわらず山本知事を始め農政部鷺尾次長、高橋技監、佐久間畜産課長、春日種畜場長の御臨席を得て開催され、席上特に山本知事からは畜産の進展に伴う畜産技術職員の役割は重大であり、日頃の技術の研鑽は基より地域社会の調和のとれた畜産の振興に力をそそぐ様励ましの言葉をいただきました。

更に山本知事は畜産振興の基盤となる畜産試験研究機関の充実と家畜保健衛生所、研修センター、生化学病性鑑定施設を早急に実現したい旨確約され盛大裸に会を閉じた。

「うし年の73年 宮城県酪農乳業の つどい」開催案内

1973年のうし年と新しい世紀へのスタートを記念して、飼料基盤の確保、新鮮にして良質な牛乳の生産と消費の拡大を図り、併せて本県酪農および乳業界の飛躍の発展に資することを目的として、今般「うし年の73年宮城県酪農乳業のつどい」が下記のとおり開催することになりましたので、酪農生産者をはじめ関係者多数ご出席されるようご案内いたします。

記

1. 日時 1月29(月) 10時30分
2. 場所 東北電力7階大ホール
3. 主催 宮城県生乳販売農協連、宮城県乳業協会
4. 後援 宮城県、宮城県酪農協会、宮城県生乳検査協会、宮城県ホルスタイン協会、宮城県草地協会、宮城県畜産開発公社、宮城県牛乳販売連合会、宮城県家畜畜産物衛生指導協会、宮城県畜産会、宮城県畜産協連等
5. 参加者 酪農生産者、乳業関係者、酪農指導機関関係者、衛生関係者その他関係団体

行事日程

1. 講演 全国酪農協会常務理事 秋山正文氏
演題 「我国酪農の現況とうし年の課題」
2. 表彰 (1) 功労者
(2) 昭和47年度乳質改善共助会
(3) 草地、衛生関係団体
3. アトラクション
歌と踊りの1時間
民謡、舞踊パライテーションショー
司会 大瀬しのぶ、漫才コンビ
大瀬こいし
(1) 舞踊の部
西崎緑仙社中
(2) 民謡の部
民謡日本一、五星会一行

パスチャー・ポストD型
脱柵の心配のない隔障物

北原電牧(株)代理店

仙台市卸町三丁目1番地21号



吉田産業仙台支店

TEL (0222) 02 4131

畜産の薬品・器機

何でも揃ふ専門店

仙台市上杉三丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL (25) 7338

支店 登米郡迫町佐沼下田中

TEL 迫(2)2278

支店 山形市小白川町4丁目

TEL 山形(3)9909

賀 春

宮城県農業協同組合中央会長
 宮城県信用農業協同組合連合会長理事
 宮城県経済農業協同組合連合会長理事
 宮城県畜産農業協同組合連合会長
 宮城県農業共済組合連合会長
 宮城県生乳販売農業協同組合連合会長
 宮城県畜産開発公社理事長
 宮城県綿羊農業協同組合連合会長
 宮城県草地協会会長
 宮城県獣医師会会長
 宮城県酪農協会会長
 宮城県ホルスタイン協会会長
 日本種豚登録協会宮城県支部長
 日本あか牛登録協会宮城県支部長
 全国和牛登録協会宮城県支部長
 宮城県肉用牛協会会長
 宮城県家畜畜産物衛生指導協会会長
 宮城県家畜商協同組合長
 宮城県養鶏協会副会長
 宮城県ホルスタイン改良同志会長
 宮城県家畜人工受精師協会会長
 日本軽種馬協会宮城県支部長
 宮城県畜産会長

加藤 武夫
 加藤 武夫
 加藤 武夫
 大石 武一
 小野寺 誠毅
 米倉 春雄
 山本 壮一郎
 斉藤 莊次郎
 日野 徳寿
 渡辺 勝利
 佐々木 林太郎
 佐藤 利吉
 勝又 秀雄
 加藤 武夫
 佐藤 利吉
 山本 壮一郎
 横山 嵩
 大石 武一
 栗田 左右義郎
 渡岩 俊太郎
 渥美 鉄太郎
 結城 栄吉
 大石 武一
 大石 武一

酪農経営に画期的な新鋭機登場

ノボリエーサー
 稲わら飼料調製機 ◀Asser▶

株式会社 **五十嵐商会**

仙台市中央三丁目5番14号

総合養豚事業にとりくむ
 サイボクグループ

 **(株)サイボク**

東北牧場

取締役社長 笹崎龍雄
 取締役場長 大角宏一

宮城県栗原郡高清水町影の沢 TEL(高清水)172